

第62回統計セミナー

ビッグデータ時代における ICT を活用した問題解決力育成を考える
～新課程における統計教育のあり方：教科：数学と情報の連携の必要性～

開催目的・趣旨

新学習指導要領では、理数教育の推進が大きく謳われ、その柱の一つに問題解決型の統計教育の必修化が盛り込まれています。このセミナーでは、ビッグデータ時代、データが知識を生む時代の人材育成に対して、必修化された新課程数学科「データの分析」および新課程情報科「問題解決」の単元指導が果たす役割や目的と意義、育成したい力、具体的な授業方法や評価の考え方、教科横断的連携指導の可能性を講演者と参加者で考えていきます。多くの方のご参加をお待ちしております。

開催日時・場所

平成 24 年 9 月 29 日（土）午後 1 時から午後 4 時 30 分
（午後 0 時から開場：統計関連書籍を展示しています。）
立教大学 11 号館地下 AB01 教室
〒171-8501 東京都豊島区西池袋 3-34-1

募集人数

200 名程度（予定）

参加費

2,000 円[資料代含む]

お申込方法

(財)日本統計協会ホームページ <http://www.jstat.or.jp/>
からお申込ください [FAX による申込用紙もダウンロードできます]。

お問合せ先

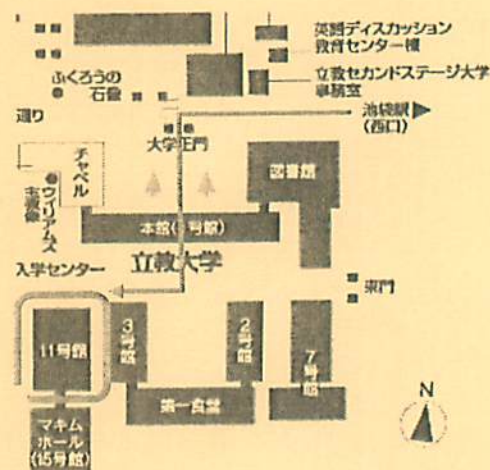
(財)日本統計協会

電話：03-5332-3151 FAX：03-5389-0691 E-Mail：jsa@jstat.or.jp

プログラム

司会：渡辺 美智子（慶應義塾大学大学院・教授）

- | | |
|--------------|--|
| 午後 1:00～1:05 | 主催者挨拶 |
| 1:05～1:50 | 文部科学省初等中等教育局 視学官 長尾 篤志
高等学校学習指導要領数学科における統計的な内容の意義と指導
～数学「データの分析」の指導と評価の考え方～ |
| 1:50～2:35 | 文部科学省初等中等教育局 視学官 永井 克昇
新課程・情報における問題解決力育成の考え方
～「社会と情報」、「情報の科学」における「問題解決」単元の指導～ |
| 2:35～2:50 | <休憩> |
| 2:50～3:40 | 慶應義塾大学環境情報学部 教授 村井 純
ビッグデータ時代：教育とインターネットの役割と責任 |
| 3:40～4:30 | 中央大学大学院理工学研究科教授、大学入試センター顧問 田栗 正章
これからの時代における統計教育の目指すべき方向とその評価
～新課程のねらいをふまえた入試への期待～ |



主催 財団法人日本統計協会

共催 立教大学社会情報教育研究センター、日本統計学会、応用統計学会、統計関連学会連合、統計数理研究所、全国統計教育研究協議会

後援 総務省統計局、日本数学教育学会、全国高等学校情報教育研究会、高校数学・新課程を考える会、理数教育研究所、実教出版株式会社、株式会社新興出版社啓林館、東京書籍株式会社、数研出版株式会社（申請中）